

令和5年度

「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



優秀賞 教育長賞 浅口市立鴨方東小学校4年 安田優衣奈  
(絵の説明)

牛乳のやさしいおいしさが伝わるような絵にしました。「牛っと」という言葉が気に入っています。

# おがやまミルクフェア2024を開催

11月9日、岡山県酪農乳業協会・おがやま酪農業協同組合共催による「おがやまミルクフェア2024」が岡山市北区の北長瀬未来ふれあい総合公園で開催されました。

昨年より一週間遅い開催でしたが、秋晴れの好天にも恵まれ、多くの家族連れにご来場いただきました。（来場者数10,000人主催者発表）

オープニングセレモニーの後、令和6年度牛乳大好き！絵画コンクールの表彰式を行いました。また、会場内に最優秀賞・優秀賞・優良賞を受賞した子どもたちの力作、合計45点を展示しました。

併せて牛乳・乳製品利用料理コンクールの岡山県大会出品作品10点のパネルも展示し、多数

の来場者にご覧いただきました。

今年初めて「ミルクの「土日ミルクPRコーナー」を出展し、子どもたちがPOP作りやDVDを見ながらクイズに挑戦していただきました。また、毎回好評の「親子アイスクリーム作り体験」と「親子バター作り体験」のコーナーではたくさんの子

が手作り体験を楽しんでいました。青年部は「大型トラクター記念撮影」や「ロールにおえかき」、女性部は「ミルクなべの販売と牛乳もちの試食、牛乳パック工作で子どもから大人まで大変な賑わいでした。岡山県畜産課は「牛乳消費拡大PRコーナー」で酪農の現状をPRし、中販連は「カルピスの牛乳割り試飲コーナー」を出展し、新しい牛乳の飲み方を提案。また、昨年も大人気だった「酪農なぞ解きコーナー」を今年も出展。

家族でスマホを使って酪農に関するクイズを解きながら会場内を巡り、酪農を学んで賞品を目指していただきました。全部を紹介できませんが、お客さんが楽しんでいただけたコーナーをたく

さん設けました。

岡山県酪農乳業協会会員の乳業メーカーのほか、6次化産業に取り組む組合員さんも出店され、主力商品のPRと牛乳・乳製品を販売し大盛況でした。

ステージでは子どもたちに大人気の「それいけ！アンパンマンショー」や「アジアノ岡山チアダンススクールによるダンスが会場を沸かせ、ステージ前には多くの家族連れで賑わいました。

今年も岡山県厚生連による「骨密度測定」及び岡山県栄養士会による「栄養相談」も行われ、多くの方に牛乳の大切さをPRしていただきました。

一日ではありませんでしたが、牛乳に関わる人たちが一丸となつて、牛乳・乳製品の消費拡大、酪農業の理解醸成に貢献できたのではないかと思います。

最後になりましたが、ミルクフェアにご協力を賜りました出店者、並びに関係者の皆様方に心より感謝とお礼を申し上げます。

（事務局）



主催者の挨拶



表彰



# 令和6年度下期乳用牛体格審査報告

令和6年度下期牛群審査および後代検定娘牛に関わる体型調査が10月30日から11月5日にかけて、(一社)日本ホルスタイン登録協会 植原友一郎審査員により実施されました。

今回の審査では、牛群審査8戸132頭、牛群奨励審査1戸3頭、体型調査8戸42頭、SNP審査3戸15頭、合計192頭の審査を行いました。

牛群審査では、美咲町吉原直樹さん所有「グランデール ナットウマキ」号(平成30年5月9日生、5産)が11月12日の確認審査(高橋貞光審査員)を経て93点(EX-2E)を獲得しました。同牛は第39回中国地区B&Wシヨウや第79回岡山県畜産共進会乳用種牛の部においてブランドチャンピオンを獲得しています。

また、岡山市 妹尾



「グランデール ナットウマキ」号

優佳さん所有「ヒールクレスト コスモポリス ローヤリスト」号(令和元年9月5日生)、「ヒールクレスト ジョイジョイ チヤゲ フタゴ」号(平成30年4月10日生)、(有)長恒牧場所有「ロングスト マダム ドック ゴードン ET」号(平成31年4月24日生)の3頭が91点を獲得しました。

今回の審査および調査にご協力いただいた組合員の皆様、大変ありがとうございました。次回の審査の際もよろしくお願いたします。

(生産支援課)

## 令和6年度下期牛群審査成績高得点牛

89点以上 (ホルスタイン種)					
市町村	受審農家名	名	号	年齢	決定得点
美咲町	吉原 直樹	グランデール	ナットウマキ	6-05	93
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	コスモポリス ローヤリスト	5-02	91
真庭市	(有)長恒牧場	ロングスト	マダム ドック ゴードン ET	5-06	91
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	ジョイジョイ チヤゲ フタゴ	6-06	91(EX-2E)
美咲町	吉原 直樹	グランデール	アフロディーテギヤング ギンナン	5-01	90
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	マウイ ブチコ フタゴ	5-02	90
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	エコリーフ スター	5-06	90
岡山市	有安 力	ALICE	ジュリエット ロートラスト ジルコン ET	6-02	90
真庭市	(有)長恒牧場	ロングスト	ビューティー ソロモン ニコ	6-06	90
真庭市	(公財)中国四国酪農大校	カヤベ	セイエラ ユニクス ホルン	6-09	90(EX-2E)
真庭市	(有)長恒牧場	グランデール	ホツペニチュウ ET	6-10	90
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	スノー ロングハイブン	7-04	90(EX-3E)
真庭市	(有)長恒牧場	ハッピーグローリー	ビクトリア ペトロン	7-05	90(EX-3E)
津山市	辻 賀裕	ハッピーライブ	モデステイー ダンテ ルル	4-08	89
岡山市	有安 力	ALICE	エボニー エクシー クラッチ エルメシア ET	5-02	89
岡山市	有安 力	ALICE	アマンダ マーチ ハンプレン マリアベル ET	5-02	89
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	コスモポリス ロニ	5-02	89
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	デンバー ネット	6-01	89
岡山市	有安 力	ALICE	プロミス プリツチー シルバ プラチナ ET	6-02	89
真庭市	(有)長恒牧場	ヒールクレスト	エモーション チーフ	6-08	89
真庭市	(有)長恒牧場	ハッピーシャイン	ジャーナリスト ゲイン ET	6-08	89
初産で85点					
市町村	受審農家名	名	号	年齢	決定得点
美咲町	吉原 直樹	グランデール	ホットジヨブ パムパム	2-08	84

# うしのげっぷ由来のメタン削減に挑戦

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

## 背景・目的

地球温暖化が進む中、農業分野においても温室効果ガス（GHG）を削減することが喫緊の課題です。中でも牛の消化管内発酵により排出されるメタンは、わが国の農業分野から排出されるGHGの約15%を占め、排出削減に向けた技術開発が求められています。

シユーナッツ殻液製剤、カギケノリが挙げられます。メタン削減の仕組みは、発酵過程で発生する代謝性水素をプロピオン酸産生時に取り込むことによりメタン産生を抑制することです。

## 試験実施状況

この試験は、明確なメタン削減効果がある資材を見つめることを目指していますが、資材の混合割合を変えたり、地域の食品副産物を試した

そのような中で、メタン生成に関与するルーメン内微生物を制御することで、メタン産生量を削減できることは知られていますが、その効果が明らかにされている飼料添加資材は多くありません。

そこで、当研究所では、実験室内での試験により、メタン排出量を削減する物質を含んだ未利用資源等を活用した牛のメタン産生量の削減効果を検討しています。

## メタン削減のしくみ

メタン削減効果のある物質として不飽和脂肪酸、アナカルド酸、プロモホルム、サポニン、ポリフェノールなど多数の物質が報告されています。（表 農研機構 成果情報 2007、日本農薬学会誌36、他）これらの物質を含んだ代表的な資材として、脂肪酸カルシウム、カ

物質名	含有される資材（例）
不飽和脂肪酸	脂肪酸カルシウム、粕類など
アナカルド酸	カシユーナッツ殻液
プロモホルム	カギケノリ
サポニン	茶葉、大豆など
ポリフェノール	
タンニン	柿皮、コーヒー粕、ワイン粕など
フロロタンニン	褐藻

表 メタン産生削減効果が報告されている主な物質

り、試行錯誤を繰り返しています。対照区として設定した、カシユーナッツ殻液製剤を含んだ飼料添加剤については10%以上の濃度で効果が確認できましたが、今のところタンニンなどを含んだ粕類などの食品副産物（粕類）については、安定したデータが得られていません。

## 期待される成果

メタン産生削減効果が認められる未利用資源等を明らかにすることに より、農業分野で多くを占める畜産分野からのGHG排出量削減への貢献とそれらを利用した畜産物の有利販売につながる未利用資源等の活用が期待されます。

## 第一胃内でのメタン産生のメカニズム

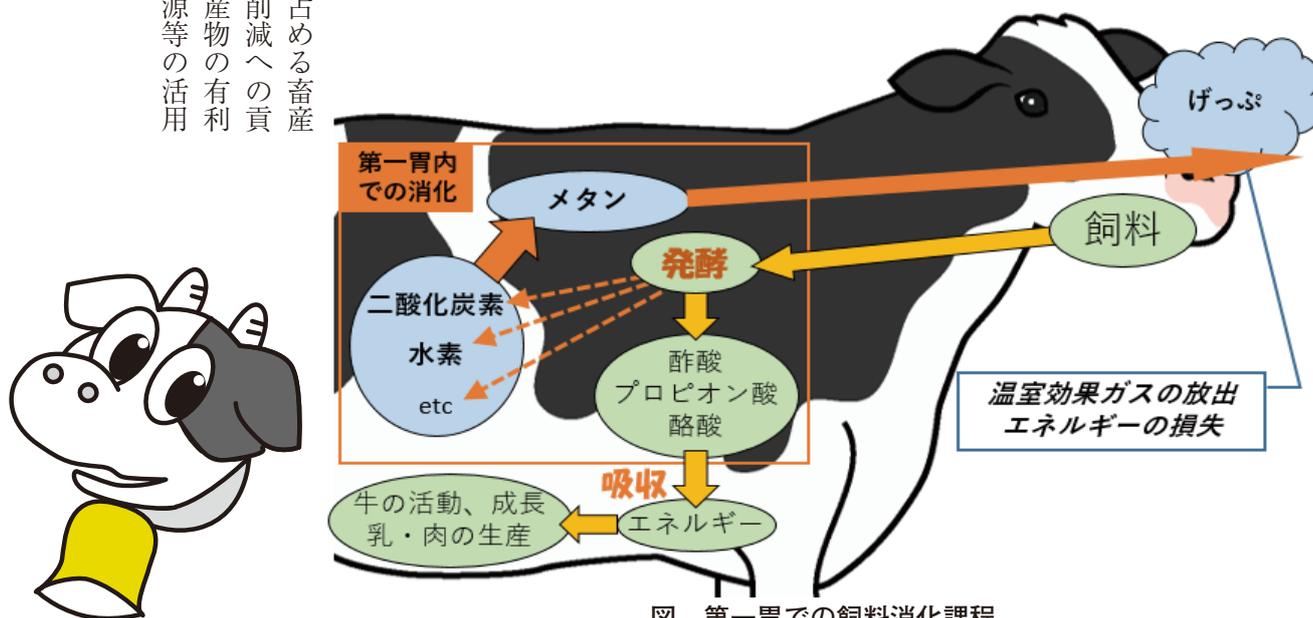


図 第一胃での飼料消化課程

# “子牛の寒冷対策”について

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 伊藤 湧也

## はじめに

いつも大変お世話になっております。日を増すごとに寒さが厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、子牛の寒冷対策についてお話をさせていただきます。寒冷時期の哺乳子牛は特に体調を崩しやすいです。子牛の管理がその後の発育・生産性に大きく関わりますのでご注力いただければと思います。既にご承知の内容もあるかと思いますが、少しの間お付き合いいただければ幸いです。

## 環境条件について

子牛の環境・気温変化による自身の体を維持するためのエネルギー変化について説明いたします。子牛にとって体温維持に特別なエネルギーを必要としない熱的中性圏は3週齢未満で15℃以上～25℃、3週齢以上で5℃～25℃が温度帯となっていますので、範囲外では寒冷ストレスや暑熱ストレスを受けることとなります。

子牛は体質上、被毛が細く、皮下脂肪が少ないため寒冷ストレスを受けやすい特徴があります。成牛と比較して新生子牛は熱を発生させる体の体積よりも表面積が大きいため、放熱する面積が大きくなっています。また、体脂肪率で見ると3%～4%と非常に低くなっているため、エネルギー供給が必要不可欠となります。寒冷ストレスを受けた子牛は腹の毛が伸びています。また寒冷ストレスを受け、抵抗力が落ちると真菌症に感染しやすくなります。

一方で暑熱期は熱性多呼吸や放熱にエネルギーを要するため、暑熱と寒冷条件下ではどちらも維持エネルギー要求量が増加します。さらに疾病に罹患することで1℃～2℃の発熱が起こると維持エネルギー要求量も上がります。発熱時に食欲が減退している場合は、蓄積した体脂肪に頼ることとなります。

分娩状況によっても異なる体温変化があり、健康な子牛でも出生後は体温が1℃低下します。

また難産で生まれた子牛はより体温低下が大きくなるようです。(図1)(出典：NASEM2021,2023 Dairy Nutrition and Management Shortcourse,内部資料)

分娩直後の子牛の体温低下

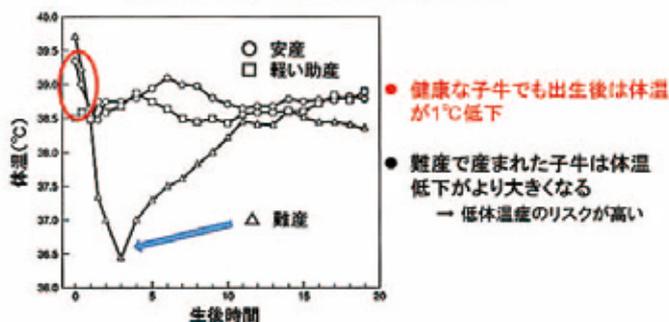


図1

(出典：Davis and Drackley. The development, nutrition, and management of the young calf. 1998.)

## 具体的な対策案 (例)

### ○出生後の管理

→先述した通り出生直後は子牛の体温低下が起こります。清潔なバスタオルで子牛の体に付いている羊水をしっかりと拭いて乾かしてください。特に寒冷地では耳の後ろや脇の下、内またなどの吹き忘れは、凍傷の原因になるので注意してください。ぬるま湯で洗ってあげたり浸からせて温めてあげるのも良いと思います。

またエネルギー給与の観点からもなるべく早く初乳給与をお願いします。初乳給与については先月号に詳しく記載がありますのでご確認ください。

### ○代用乳の給与量増加やエネルギー価の高い高脂肪代用乳へ変更

→表1の通り飼料設計ソフトで検証したところ、同じ代用乳(カーフトップEX)1.2kg/日給与でも、20℃と-5℃では気温変化によって代謝エネルギー要求量が異なるため、適温時と寒冷時では期待で

アウトプット	20℃	-5℃
乾物摂取量 (kg/日)	1.16	1.16
DM (%)	96.44	96.44
ME可能増体量 (kg/日)	0.84	0.61
MP可能増体量 (kg/日)	1.15	1.15
ME (%充足率)	98.85	83.91
MP (%充足率)	127.69	127.69

表1 気温変化によるエネルギー要求量の変化(飼料設計ソフトAMTSで確認)

きる増体は変わります。哺乳子牛のエネルギー補給は代用乳の脂肪分に大きく依存するため、寒冷時は普段よりも哺乳量を増やしたり、エネルギー価の高い高脂肪代用乳を使用しましょう。給与量を増やす場合は、20℃を境に朝晩の寒暖差が大きくなる時期や気温が10℃下がる時期に哺乳量を10%増やすようにしてください。(通常代用乳を6ℓL/日給与している場合、6.6ℓに増やす) 基本的には給与量を一定にして代用乳の濃度を濃くする方法は、消化性の下痢の原因になり得るのでお勧めしません。

その他溶解するお湯の温度にも注意しましょう。常に母牛の体温程度(39℃~40℃)になるように寒冷期はやや高め温度で溶解してください。(出典:内部資料)

### ○寒気対策と換気対策

→隙間風に注意して、ベニヤ板やカーテンなどを駆使して冷たい風が当たらないようにしましょう。ただし、換気にはご注意ください。完全に閉め切っておくと、アンモニアガスで呼吸器疾患の原因となってしまいます。冷たい風が直接子牛にあたらないことを確認して、日中はカーテンを開けるなど換気を定期的に行いましょう。

また、ヒーターやポリタンク容器にお湯を入れた湯たんぽの活用もお勧めです。低温やけどの恐れもありますので、子牛に直接当たらないよう工夫してください。

### ○十分な敷料の確保

→冷えたコンクリートはお腹を冷やす原因となりますので、子牛の脚が隠れるくらい敷料を十分に入れて底冷えを防止しましょう。ペン・ハッチであれば敷料を頻繁に交換し、風呂マットを敷いて尿で濡れるのを防ぐのも良いと思います。

### ○ネックウォーマー・ベストの着用

→ネックウォーマーは、ヒト用の市販されているものでもご使用できますのでご準備ください。体熱放散を防ぎ、子牛の消耗を抑えましょう。

### おわりに

今回、子牛の寒冷対策について簡単にお話させていただきました。紹介した事例をもとに牧場に合わせた寒冷対策をご検討ください。全酪連ではモーベスト含めた冬季キャンペーンを実施中です。詳細は添付フライヤーをご確認ください。その他ご不明な点のお問い合わせや栄養管理・飼養管理に関するご相談はお近くの全酪連職員にご連絡ください。



全酪連  
**Winter campaign**  
2024/11/1~2025/1/31

 <b>GOOD START</b> プレミアム (250g×10袋)	<b>¥2,000 OFF</b> グッドスタートプレミアム (250g×10袋) 27,797円 → <b>25,797円</b> <small>(税別)</small>
 <b>Grow Power</b> (200g×10袋)	<b>¥1,000 OFF</b> 子牛用粉末製品 グロウパワー (200g×10袋) 23,500円 → <b>22,500円</b> <small>(税別)</small>
 子牛用ベスト モーベスト (S/M/L/LL)	<b>¥500 OFF</b> 子牛用ベスト モーベスト (S/M/L/LL) 4,700円 → <b>4,200円</b> <small>(税別)</small>

# 第29回酪友フォーラム

11月14日～15日、西日本酪農青年女性会議主催による「第29回酪友フォーラム」が真庭市「休暇村蒜山高原」で開催されました。

初めに、7月に行われた「第51回全国酪農青年女性酪農発表大会」の成績についての報告があり、経営発表の部において農林水産大臣賞を受賞された筒井省悟さんに賛辞が送られました。

その後の講演会では、(公財)中



講演会の様子

国四酪農大学校教務課長 関哲生氏、(株)Clover Farm代表取締役 青沼光氏のお二人から『畜産業における担い手育成』についてご講演いただきました。

酪農大学校の関氏の講演では、『生産・支援・消費』の視点に立った担い手育成の取組』と題して、『生産現場に従事する人材(学生)の育成』【酪農関連業界に従事する人材の育成】『低年齢層への酪農理解醸成活動(酪農教育ファーム活動等)を通じた将来の担い手確保』について、その重要性や実際の取組内容についてご紹介いただきました。

続いてClover farmの青沼氏からは、『担い手側の視点に立った関係機関や行政に期待する就農支援』として、広島の実業家出身の青沼氏が富山県の牧場を第三者継承し起業した際の体験談や現在ご自身が取り組まれている担い手育成、SNSを活用した人材確保、農工商連携・地域資源活用による酪農業の社会的地位の確立などについて、熱く語っていただきました。講演会には酪農大学の学生の皆さんも参加されており、『若者には、『酪農だからできること(社会貢献)』に価値を見出し、てほしい』という青沼氏からのメッ



学生とのディスカッション

セージに真剣に耳を傾けていました。

また、講演会の後には、酪農大学校2年生3名と西日本酪農女の委員長、副委員長とのパネルディスカッションが行われ、『未来の酪農従事者』と『現役の酪農家』から様々な意見が飛び交いました。

さらに、2日目には蒜山酪農農業協同組合のA2ジャージー牛限定牧場となっている中国四酪農大学校第二牧場の施設見学があり、ジャージー牧場としての飼養管理上の工夫

点や酪農担い手養成施設としての特徴的な取り組みなどをご紹介いただきました。

今回の酪友フォーラムは県内開催ということもあり、おからく女性部・青年部から多数ご参加いただきました。ありがとうございました。

来年は西日本発表大会が鳥取県米子市、全国発表大会が岡山市で開催されます。他県酪友と交流を持つことが出来る貴重な機会ですので、ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(生産支援課)



他県酪友と親睦を深めました

# ジャジングスクールに参加

愛知県岡崎市で開催されたジャジングスクールに、吉原直樹さん、長恒泰裕さん、辻賀裕さん、松崎光紀さんの4名の方と2日間参加しました。

辻さん・吉原さん・長恒さんは認定ジャジマンコース、松崎さんはジャツジマン候補コース、私は一般コースに参加しました。

1日目の一般コースでは、基本的なホルスタインの見方、線形評価法、ショウ審査の手引き・心得について座学がありました。講義では牛の各部位がどのような形が理想的かを詳しく解説、審査講評のポイント、講評用語について学習しました。認定・候補コースの方々は別グループで牛の審査を行いました。

2日目は、両コース合流し、共進会と同様に牛を周回させながら審査



記念撮影



講習のようす

を行いました。各部4頭でしたが、牛のタイプが似た部もあり、まったく違うタイプの部もあり、序列をつけるのが非常に難しく、1位の牛を当てるので精一杯でした。

岡山県からは辻さん、長恒さんが審査講評を行いました。

1日目の講習が終わった後、岡崎グランドホテルにて懇親会が行われ、北海道から宮崎県まで多くの参加者の方たちが、各県の酪農情勢や酪農仲間の近況を報告しながら楽しく食事を囲みました。

初めての参加となりましたが、とても学ぶことの多い研修会でした。この度は、参加させていただき、ありがとうございました。

また、おからく教育振興会から参加された4名の方へ助成をいただき、誠にありがとうございました。

(西大寺事務所)

# 美星ふるさと祭り開催

11月10日、「第40回美星ふるさと祭り」が星の郷ふれあいセンターで開催されました。40回目の記念ということで、美星の酪農家3戸、酪農家OBの有志で、久しぶりのイベント参加となりました。

酪農のブースでは、トラクターの展示・試乗、ロールへのお絵かきを体験していただき、牛乳と酪農業界の苦しい現状を



ロールへのお絵かき体験

伝えるチラシを配布して、来場者に牛乳の消費拡大を訴えました。

牛乳を配布しました。天候が心配されましたが、イベント終了まで天候にも恵まれ、酪農家の皆様やそのご家族、酪農家OBの方等にお手伝いいただき、盛況に終わることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

(備南事務所)

# びほく地区女性部研修会

11月22日、「びほく地区女性部研修会」を開催しました。

前半はびほく事務所で寄せ植えを楽しみました。パンジー、ガーデンシクラメン、葉牡丹など季節の花をたくさん使って行いました。びほく女性部で行う寄せ植えは久々ということもあり、全員楽しみにして下さっていたので、大変喜ばれていました。とても手際よく作業されたので、あつという間に完成しました。寄せ植えが終わった後は、事務所近くのホテル内にあるレストラン



寄せ植えの完成です!!



食事も会話も忙しいです(笑)

で、ランチバイキングを楽しみました。久しぶりに集まった仲間との話にも花が咲き、時間が経つのを忘れるほどでした。日頃から忙しくされている奥様方にとつては、短時間ではありましたが、心身ともにリフレッシュできたのではないのでしょうか。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。今後もしつかり活動が続けていきたいと思しますので、よろしくお願いたします。

(びほく事務所)

## ひろば

### 庭木の剪定

鏡野CS 難波 正憲

ここ数年、毎年年末が近づくと家の庭にある庭木の剪定をしました。松の庭木だけは庭師の方に依頼していました。その方が高齢のため剪定ができなくなり、さてどうしようかと

考えているうちに2年が経過し、枝が伸び放題となり、枯れ葉が目立つようになりました。さらに松くい虫にやられたかと思ひ、一念発起し自分で剪定を始めました。

初めは小さい脚立で低いところの枝から意気揚々と剪定を進めていましたが、使える道具が剪定鋏だけだと葉がチクチク刺さります。さらに、上の方にいくと日当たりのせいかわ物凄く伸びており、脚立から落ちそうになることがあるなど、



何度もくじけそうになりながら2日がかりで終わらせることができました。素人が思いつきでした剪定なので、今後松の木がどうなるか心配です。他の庭木については、ヘッジトリマーで綺麗に切っていけば良いので、もう1日程頑張ろうと思います。

## ご協力とお願い

日頃より組合業務につきまして、格別のご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

年末年始の業務は、**12月30日(月)から1月3日(金)**まで休業とさせていただきます。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

ただし、緊急の場合には連絡表によりお願いいたします。



## 乳代精算日のお知らせ

令和7年の乳代精算日を次の通りとさせていただきます。

(総務部総務経理課)

月	乳代精算日
1月分	R7年2月20日
2月分	R7年3月21日
3月分	R7年4月21日
4月分	R7年5月20日
5月分	R7年6月20日
6月分	R7年7月22日
7月分	R7年8月20日
8月分	R7年9月22日
9月分	R7年10月20日
10月分	R7年11月20日
11月分	R7年12月22日
12月分	R8年1月20日

## 理事

## 会報

## 告

10月30日、第291回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

檜尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和6年度生乳需給安定化対策について

令和6年度9月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○上期決算について

令和6年度上期決算は事業利益では7,793千円の黒字決算となりましたが、補助金交付が遅れたため昨年比190千円の減となりました。経常利益は40,904千円の黒字となりました。

○出資減口の申込について

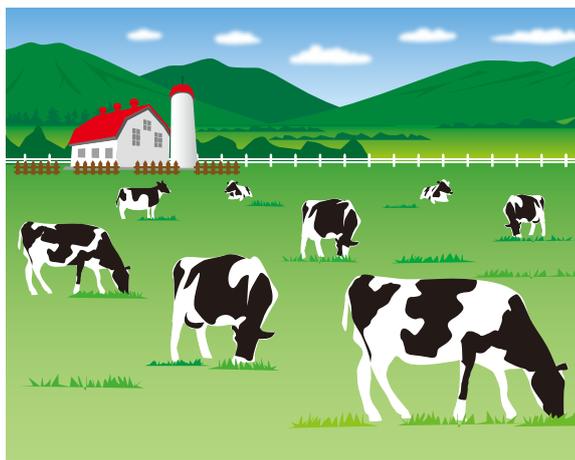
減資申し込みが2件あり、酪農中止による出資減口の申し込みのため、やむなく承認した。

○全戸巡回意見の取り纏めについて  
全戸巡回意見の回答内容について協議し、11月上旬に組合員に回答を送付することを承認した。

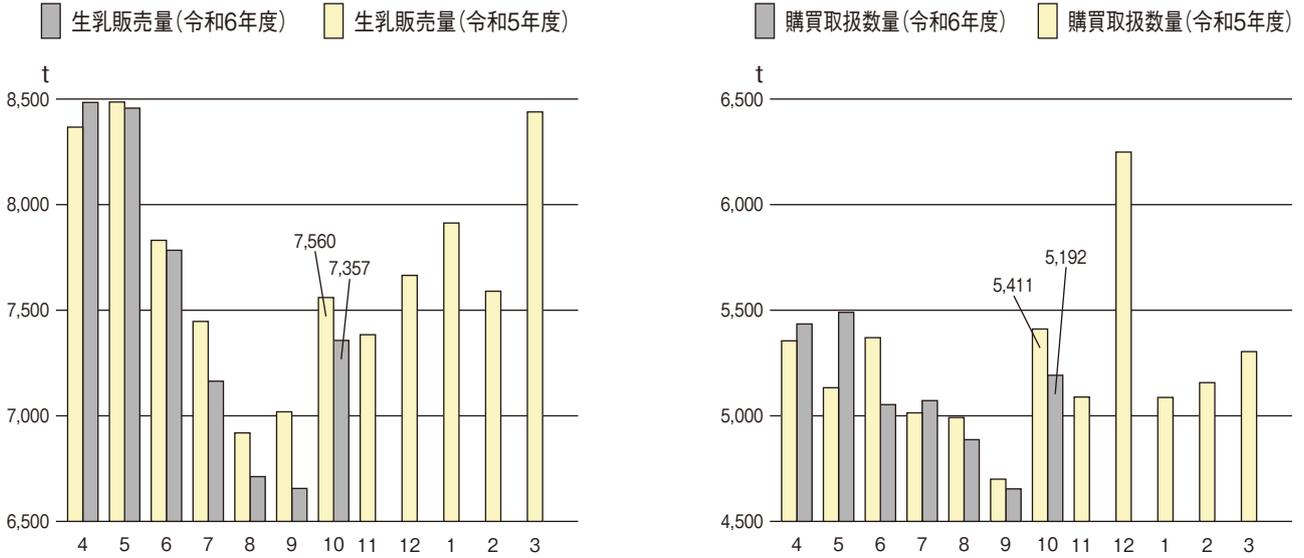
○高梁大池山育成牧場利用組合からの要望について  
高梁大池山育成牧場利用組合からの運営支援要望について協議し、支援することを承認した。

○酪農業賠償責任保険の加入について  
保険期間の満了に伴い、継続加入を承認した。

○報告事項  
第2四半期苦情等の報告について、料理コンクール・絵画コンクールの結果について、組合員数の状況について報告した。



# おからく事業実績



## 生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	10	55,953.8	29,690.0	12,224.8	14,039.0	100.6	99.0	109.8	96.8
	4~10	3,977.7	2,001.8	975.9	999.8	99.7	97.5	104.7	99.5
岡山県	10	7,357	7,123	152	82	97.3	96.9	128.8	91.1
	4~10	5,261.4	4,973.4	2,292	588	98.2	96.6	154.9	95.6
北海道	10	32,671.3	7,603.7	11,453.7	13,613.9	102.3	99.8	111.3	97.1



## 主な行事

### 12月

- 3日 岡山県条例検査(～4日)
- 16日 岡山県条例検査(講評)
- 20日 管理職会議
- 25日 理事会
- 27日 仕事納め

### 1月

- 6日 新年互礼会
- 15日 役員視察研修(～17日)
- 23日 管理職会議
- 30日 理事会
- 役員コンプライアンス研修会

**北海道初妊牛価格**

11月については、1～2月分娩が回りの中心となり、更新需要を中心に一定の需要が確保されたことから、平均価格は税込50万6千円(前月比6万9千円高・前年比6万2千円高)と値上げ基調にて推移した。

12月については、春分娩の需要を中心に引き合いが見込まれることから、相場は、やや強含みで推移することが予想される。